

棚田の花段

第34回 山口県環境保全型農業フォーラム
2025年2月23日(日)

NPO法人ゆや棚田景観保存会
副理事長 和田あいこ



01 自己紹介

NPO法人ゆや棚田景観保存会
副理事長

和田 あいこ

Wada Aiko

- **仕事・経験**

ペット関連、サービス業、雑貨店
商品開発デザイン、空間デザイナー
観光アドバイザー

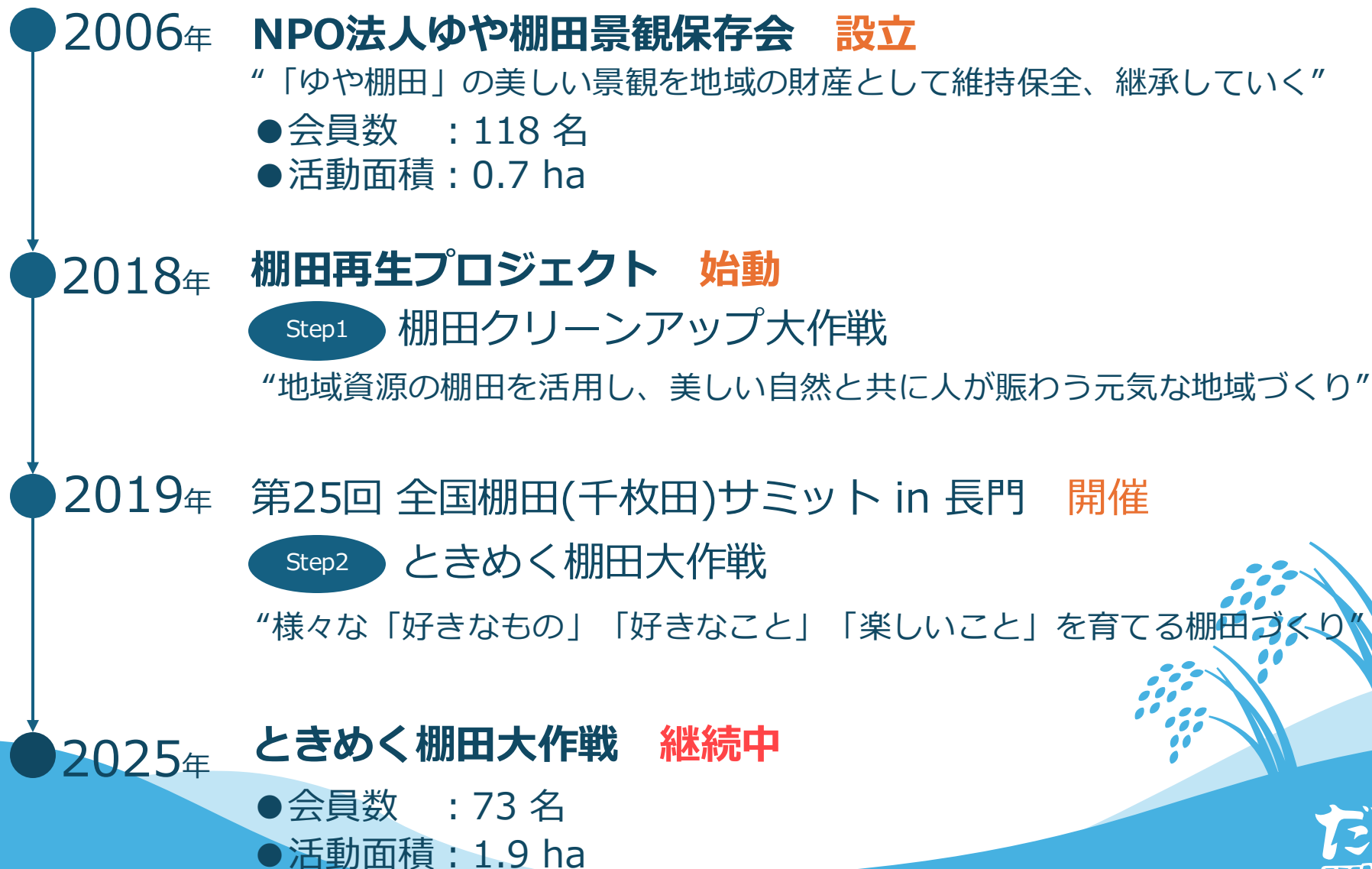
- **経歴**

2000年 山口県長門市にUターン

2018年 NPO法人ゆや棚田景観保存会にて活動開始



02 NPO法人ゆや棚田景観保存会について



02 NPO法人ゆや棚田景観保存会について

基本的な活動内容（2006年→2025年）

● 棚田保全の草刈り

● 教育プログラム

- ・ 保育園児の芋掘り体験
- ・ 夏休みの宿題お助けツアー

● 地域住民との交流

- ・ 音楽ライブ
- ・ 夜棚クリスマスイベント



03 棚田の「昔」

① 出典：国土地理院撮影の空中写真 <昭和44年>（加工して作成）

江戸時代

政策

防長四白



米



塩



紙



蠟

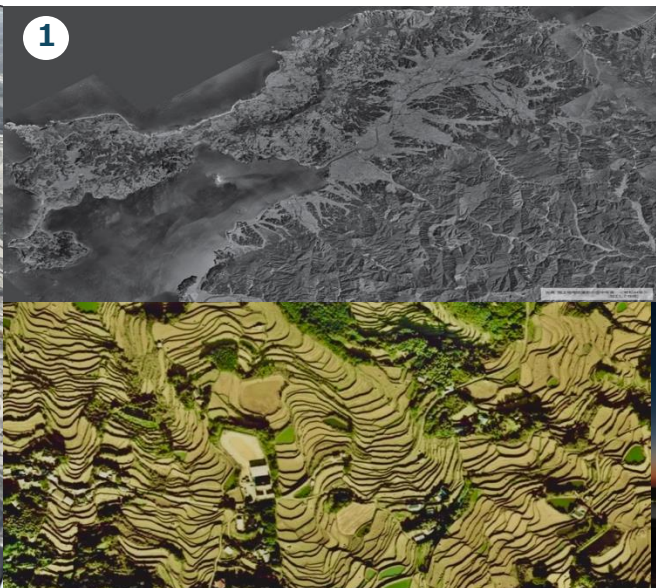
4つの生産を強化

むかつく

山口県長門市油谷「向津具半島」は米の生産半島一帯に**26,000**枚の棚田

1999年

向津具半島棚田群の一部である東後畑棚田は「**日本の棚田百選**」に認定
この頃は、まだまだ棚田での農業が盛んに続いていました



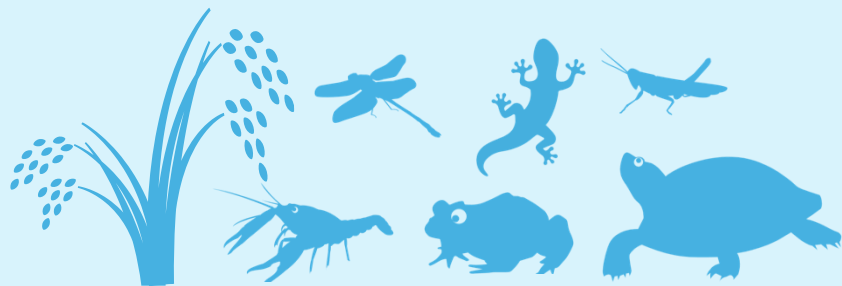
04 棚田の「農地としての運命」

● 2005年 耕作放棄地が増加

● 2015年

- 1 一度、荒地になると水田として利用できる機能もどんどん失われていきます
- 2 地崩れなどにより、自然の生態系、環境、土壌もどんどん変化していきます

農地



耕作放棄地



05 棚田と地方の抱える「問題」

棚田地域で起こった問題

重労働

高齢化

担い手
不足

収益性

過疎化

地域資源となる **棚田消滅の危機**



06 地域資源である棚田の再生への「道」

2018年 棚田再生プロジェクト 始動

“地域資源の棚田を活用し、美しい自然と共に人が賑わう元気な地域づくり”

Step1

棚田クリーンアップ大作戦

- 1 人道と畔(あぜ)の再生と保全
- 2 かや、クズ、木、竹など駆除と保全
- 3 水の道の整備と保全
- 4 生態系の対策と保全



07 再生した棚田“棚田の花段”の「ときめく棚田大作戦」

2019年 全国棚田(千枚田)サミット in 長門 開催

Step2

ときめく棚田大作戦

“様々な「好きなもの」「好きなこと」「楽しいこと」を育てる棚田づくり”

4つの
約束

- 1 農薬は使用しません**
→自然と人が寄り添い安全な棚田づくり
- 2 棚田を活用する事業を行います**
→単一事業ではなく、他事業化を生み出せる棚田づくり
- 3 おもてなしを大事にします**
→関係人口、交流人口の幅を広げる棚田づくり
- 4 生産性だけでなく周辺の保全を行います**
→棚田を地域特有の資源として再生する

未来に棚田を繋いでいくスタートライン

08 ときめく棚田の「ときめきづくり」

Step2

ときめく棚田大作戦

“様々な「好きなもの」「好きなこと」「楽しいこと」を育てる棚田づくり”



08 ときめく棚田の「ときめきづくり」

Step2

ときめく棚田大作戦

“様々な「好きなもの」「好きなこと」「楽しいこと」を育てる棚田づくり”



08 ときめく棚田の「ときめきづくり」

Step2

ときめく棚田大作戦

“様々な「好きなもの」「好きなこと」「楽しいこと」を育てる棚田づくり”



08 ときめく棚田の「ときめきづくり」

Step2

ときめく棚田大作戦

“様々な「好きなもの」「好きなこと」「楽しいこと」を育てる棚田づくり”



09 農地としての「未来の棚田」

2023年 長門市オーガニックヴィレッジ宣言

伝統的な長門ならではの安心・安全な農業を有機農業として伝承していき、これからの一次産業の発展を目指していく

NPO法人ゆや棚田景観保存会としては、
棚田再生と共にときめくファーマーが増えていくために

5つの Point

- 1 **農地づくり** → 放棄地となっている棚田は水も道も連携する
- 2 **売り先づくり** → 生産者が消費者に直接伝えられる環境へ
- 3 **棚田づくり** → 農作物や環境の付加価値が付く棚田へ
- 4 **資源づくり** → 自然と資源を守れる棚田へ
- 5 **特徴づくり** → 地域性と社会性が共に共存する棚田へ

10 終わりに

農地が無ければ、農作物も作れません
農作物があっても、売り先がなければいけません
売り先があっても、地域が消滅しては何にもなりません

小さな農業も大きな農業も同じように、
土地にふれあう市民に夢のある地域であるように願っています

ご清聴ありがとうございました



だんだん よくなる たなだ



質疑応答 (5分間)

